

修道法学

第 28 卷 第 2 号

(通巻第 55 号)

加藤 高教授退職記念号

2006年 2 月

論 説	献辞	法学部長 大熊 忠之
	法制史家・加藤 高先生	吉田 正志
	加藤 高 先生のこと	
	——民事判決原本の一時保管とその後——	紺谷 浩司
	入会団体における団体意思	
	——全員一致原則との関係を中心に——	上谷 均 (542) 1
	単身赴任と通勤災害	
	——高山労基署長（通勤災害）事件・	
	岐阜地判平17・4・21を素材として——	三井 正信 (1)
	契約の危殆化とドイツ新債務法における	
	「不安の抗弁権」規定	松井 和彦 (49)
	明治13年公布「刑法」(旧刑法) の	
	二重該当罪規定の成立と抵当権の公証	藤原 明久 (77)
	広島代言人組合沿革誌 附・広島始審裁判所の官許代書人	増田 修 (127)
	「会計参与制度」考	大賀 祥充 (526) 17
	ドイツ仲裁鑑定法の形成 (2)	豊田 博昭 (321)
	訴えの利益理論の現状と課題 (1)	
	——訴えの利益の実体法的把握批判——	松尾 卓憲 (351)
	仲裁判断取消事由を拡張する仲裁合意の効力	
	——合衆国における裁判例および学説からの示唆——	中林 啓一 (506) 37
	イタリアにおける女性の政治参画とポジティブ・アクション	
	——法律によるクォータ制導入の合憲性——	高橋 利安 (480) 63
	無令状捜査押収と適法性判断 (2)	
	——憲法35条による権利保障——	緑 大輔 (458) 85
	スポーツ仲裁機構と行政法理論	南川 和宣 (373)
	広島県不当な街宣行為等の規制に関する条例の検討	新谷 一幸 (401)

加藤 高教授略歴・主要著作目録

広島修道大学法学会

二〇〇六年二月二十八日発行（年一回発行）

修道法学 第二八巻 第二号（通巻第五五号）

加藤 高教授退職記念号

二〇〇六年二月

SHUDO HOGAKU

(Shudo Law Review)

Vol. 28 No. 2

Essays

Commemorating the Retirement of
PROFESSOR TAKASHI KATO
Presented by his Colleagues

February 2006

Articles:	Appreciations	Tadayuki OHKUMA Masashi YOSHIDA Koji KONTANI
	Der Wille der Iriai-genossenschaft	Hitoshi KAMITANI (542) 1
	Transference by Oneself and Commuter's Accident	Masanobu MITSUI (1)
	Die Unsicherheitseinrede nach deutschem	
	Schuldrechtsmodernisierungsgesetz	Kazuhiko MATSUI (49)
	Règlement de punir d'escroquerie celui qui a hypothéqué un immeuble, en	
	dissimulant des hypothèques dont il était grevé, dans la première période	
	de Meiji: l'art. 393 al. 2, le Code pénal japonais de 1880	Akihisa FUJIWARA (77)
	The History of Hiroshima Daigen-nin Kumiai “広島代言人組合”	Osamu MASUDA (127)
	On the “KAIKEI-SANYO” System Created in the New Japanese	
	Corporation Act 2005	Yoshimitsu OHGA (526) 17
	Ausgestaltung des deutschen Schiedsgutachtenrechts (2)	Hiroaki TOYODA (321)
	Die Aufgabe der Theorie von Rechtsschztinteresse (1)	Takuen MATSUO (351)
	Agreements to Expand the Scope of Judicial Review of Arbitral Awards in U.S.	Keiichi NAKABAYASHI (506) 37
	La partecipazione politica delle donne e la azione positiva in Italia	
	——La Costituzione della legge che introduce la quota——	Toshiyasu TAKAHASHI (480) 63
	Warrantless Search and Constitutional Interpretation (2)	Daisuke MIDORI (458) 85
	Japan Sports Arbitration Agency and Administrative Law Theory	Kazunobu MINAMIGAWA (373)
	A study of a Regulation of Hiroshima Pref.	Kazuyuki SHINTANI (401)

A Brief Survey of the Career and Works of
Professor Takashi KATO

Hiroshima Shudo Daigaku Hogaku-kai

(The Law Association of Hiroshima Shudo University)

本 号 執 筆 者 紹 介

上 谷 均	広島修道大学	大学院法務研究科 ・法学部教授
三 井 正 信	広島大学	大学院法務研究科 教授・弁護士
松 井 和 彦	金 沢 大 学	大学院法務研究科 助 教 授
藤 原 明 久	神 戸 大 学	大学院法学研究科 教 授
増 田 修	広島弁護士会	弁 護 士
大 賀 祥 充	広島修道大学	大学院法務研究科 ・法学部教授
豊 田 博 昭	広島修道大学	大学院法務研究科 ・法学部教授
松 尾 卓 憲	広島修道大学	法 学 部 教 授
中 林 啓 一	広島修道大学	法 学 部 専 任 講 師
高 橋 利 安	広島修道大学	法 学 部 教 授
緑 大 輔	広島修道大学	法学部助教授
南 川 和 宣	広島修道大学	法学部助教授
新 谷 一 幸	広島修道大学	法 学 部 教 授

修 道 法 学 第28巻 第2号 (通巻第55号)	2006年2月21日 印刷 2006年2月28日 発行 発 行 者 児 玉 正 憲 編 集 者 広島修道大学法学会 発 行 所 広島修道大学法学会 731-3195 広島市安佐南区大塚東 一丁目1番1号 広島修道大学法学部内 電 話 (082) 830-1114 印 刷 所 レタープレス株式会社 広島市安佐北区上深川町809-5 電 話 (082) 844-7500
編集委員 市 川 太 一 豊 田 博 昭 (委員長) 矢 部 恒 夫 大 賀 祥 充 菱 木 一 美	

前 号 (第28巻 第1号) もくじ

論 説	「会社企業の統治のあり方」考 ——ライブドア事件から学ぶもの—— 大賀 祥充 裁判員制度の理念的位置付けと、憲法との関係及び 今後の検討課題についての一考察 渡辺 直行 判例にあらわれた因果理論について 植田 博 専門委員制度の運用と課題 舩木 孝和 薬価基準制度の沿革と制度の法的考察 (上) 土井 純雄 ドイツ仲裁鑑定法の形成 (1) 豊田 博昭 無令状搜索押収と適法性判断 (1) ——憲法35条による権利保障—— 緑 大輔 中国における捜査段階の被疑者の権利保障について 馮 涛 国際政治学科授業アンケートにみる傾向と課題 ——2003年度・2004年度の集計結果を分析する—— 矢田部順二
研究ノート	株式会社の業務執行機関の権限構造と取締役の監視義務 安井 威興
判 例 評 釈	核拡散防止と核軍縮問題 ——「第2核時代」論について考える—— 山田 浩 ホームページを使ったグループ型演習 市川 太一 逮捕手続に重大な違法があるとして被告人の尿鑑定書 の証拠能力が否定され、その派生証拠たる覚せい剤 の証拠能力は肯定された事例 ——最2判平成15年2月14日刑集57巻2号121頁—— 緑 大輔
資 料 紹 介	〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇 緑 大輔 広島修道大学「明治期の法と裁判」研究会 明治初年代の「広島裁判所民事取扱順序」について ——明治九年三月 山口裁判所民事部の『決議録』 調査報告・その三—— 広島立志舎の創立とその活動 ——山田十畝・稿「演説会誌の葛藤」(『広島新聞』 明治十三年一月二十七日～同年四月四日)を 中心として—— 広島法律学校沿革誌 附、講法館・広島法学校・法学講習所・尾道法律学校